

たいのしよう
田結庄商店街の良さを

多くの人に伝えたい



現在、田結庄通り・八木通りにある約22店舗の協賛店からの協力を得て開催している

小さなきもの屋ふらり 店長
さいとうあおり
齊藤愛織さん

庄境在住。「出石の町を着物姿の人でいっぱいになりたい」「若い世代にも着物を着る機会を提供したい」と考え、2018年に出石町田結庄商店街に「小さなきもの屋ふらり」を開店。20年から同商店街に店を構える同世代の女性3人で「イロドリ」を結成。毎月15日に「イロドリマーケット」を企画している。

イロドリマーケットInstagram▶



イロドリマーケットを始めるきっかけは、毎月15日に、着物を着る機会を探している方に着物

を着る機会を提供する「着物D.A.Y」を始めたことを「イロドリ」のメンバー2人に伝えたことです。その際、田結庄商店街をもっと多くの方に知ってもらおうと「イロドリマーケット」を3人で開催することになりました。

このイベントは人・商店・町が彩られることを目標にしています。私は、毎月の開催に向けて主に出店者の募集やSNSでの情報発信を行っています。

当日に飲食物や雑貨等を販売してくださる特別出店者や商店街の方々に支えられ、今では約22店舗の協賛店で開催しています。また、老若男女を問わず楽しめるイベントになってきました。

出石地域の皆さんは温かく、新しいことを始めることを見守り、応援してください。古き良き町並みが残る商店街など、この町の魅力を一人でも多くの方に知ってもらえと嬉しく思います。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

高校生落語家日本一
温かさを共有できる笑いを目指して



出 石永楽館で8月に開催された「第3回落語甲子園」で、近畿大学附属豊岡高等学校2年の春乃そよかぜ(本名:田邊颯花)さんが、演目「稽古屋」を披露し、最優秀賞を受賞しました。そよかぜさんは「落語の魅力は、ただ笑いを届けるだけではなく、笑いの中に、人の温かさや精一杯生きる喜びが込められているところにあります。お客さまと深みのある笑いと温かさを共有できることを目指して、これからも稽古に励みたい」と話しました。

※関連情報を17ページに掲載。

みんなの思いを背負って全国大会へ
「厚生労働大臣賞」を受賞



県 立日高高等学校3年生のチームが、10月26日から27日に開催された「全国高校生介護技術コンテスト」に出場し、厚生労働大臣賞を受賞しました。この大会では、高校で福祉を学ぶ生徒が、3人1組で介護技術、知識、コミュニケーション能力を競います。受賞した生徒は「受賞できたことを大変うれしく誇らしく思います。今後は、感謝の気持ちを忘れず、学びや経験を生かし、介護福祉士として地域の福祉の未来を明るく元気にできるように貢献していきたい」と話しました。

豊岡市 SNS LINE X Facebook Instagram 各施設・事業の SNS

※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。

